

「火の用心だより」

第72号(令和3年2月)

発行：札幌市消防局予防部予防課

ローソク火による火災に注意しましょう

お盆やお彼岸だけでなく、日常の中でもローソクに火を灯す機会があると思います。

市内では、火の着いたローソクが倒れて火災になる事例が発生していることから、ローソクに火を灯したら、絶対にその場を離れないなど、火災予防を徹底しましょう。

＜火災事例1＞

段ボール製の簡易的な祭壇の上でローソクを灯し、別の部屋で食事をしていたところ、ぱちぱちという音が聞こえたため、祭壇のある部屋を確認すると、室内に煙が充満し炎が天井まで上がっていた。

この事案は、なんらかの理由でローソクが倒れたものと考えられます。

また、段ボール製の祭壇を使用中の火災は少なくありません。振動などに弱く、不安定であることが、ローソクが倒れやすい原因であると考えられます。



段ボール製の祭壇

＜火災事例2＞

仏壇のローソクに火を灯し、別の部屋でテレビを見ていたところ、煙とバチバチという音が聞こえたため、仏壇のある部屋を確認すると、仏壇から炎が上がっていたため、座布団を被せて消そうとしたが、消火できなかった。

この事案は、ローソクの火が近くの可燃物に触れ、火災になったものと考えられます。

ローソクのそばに、造花やお供え物など燃えやすいものを置くと、火が燃え移ってしまう危険があります。



ローソク等からの火災を防ぐポイント

- 仏壇や祭壇のそばから離れるときは、必ず火を消す
- ローソクや線香の近くに燃えやすいものを置かない
- ローソクが倒れたり、近くの可燃物がローソクに触れる可能性がある
るので、風のあたる場所では使用しない
- 衣服へ燃え移る危険があるので、お供えをするときは火を消す

火災を防ぐ対策

- 燭台は安定したものを使用する
- 電気ローソクや、短いローソクを使用する
- 仏壇マットや座布団は防災品を使用する



高齢者世帯自動消火装置設置費助成事業

今月号では、仏壇等におけるローソク火災について紹介しました。

札幌市では、高齢者世帯への自動消火装置の設置費を助成しています。例えば、仏壇からの火災が心配である場合、仏壇の上方に自動消火装置を設置することも可能です。

今年度の助成金は、令和3年3月31日までに設置工事を完了できる申請について受け付けていますので、検討されている方はお早目に「登録販売店」にご相談ください。

登録販売店の
一覧はこちら→



まずは、登録販売店
に電話、相談を！

事業についての問合せは、下記の消防局予防部予防課へ ↓

市民が主役の火災予防

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ① 火災予防行事・活動に参加しましょう | ④ 防災品を使用しましょう |
| ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう | ⑤ 放火されない環境をつくりましょう |
| ③ 消火器などの防災機器を備えましょう | ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう |

発行：札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目

☎011-215-2040

SAPPORO

